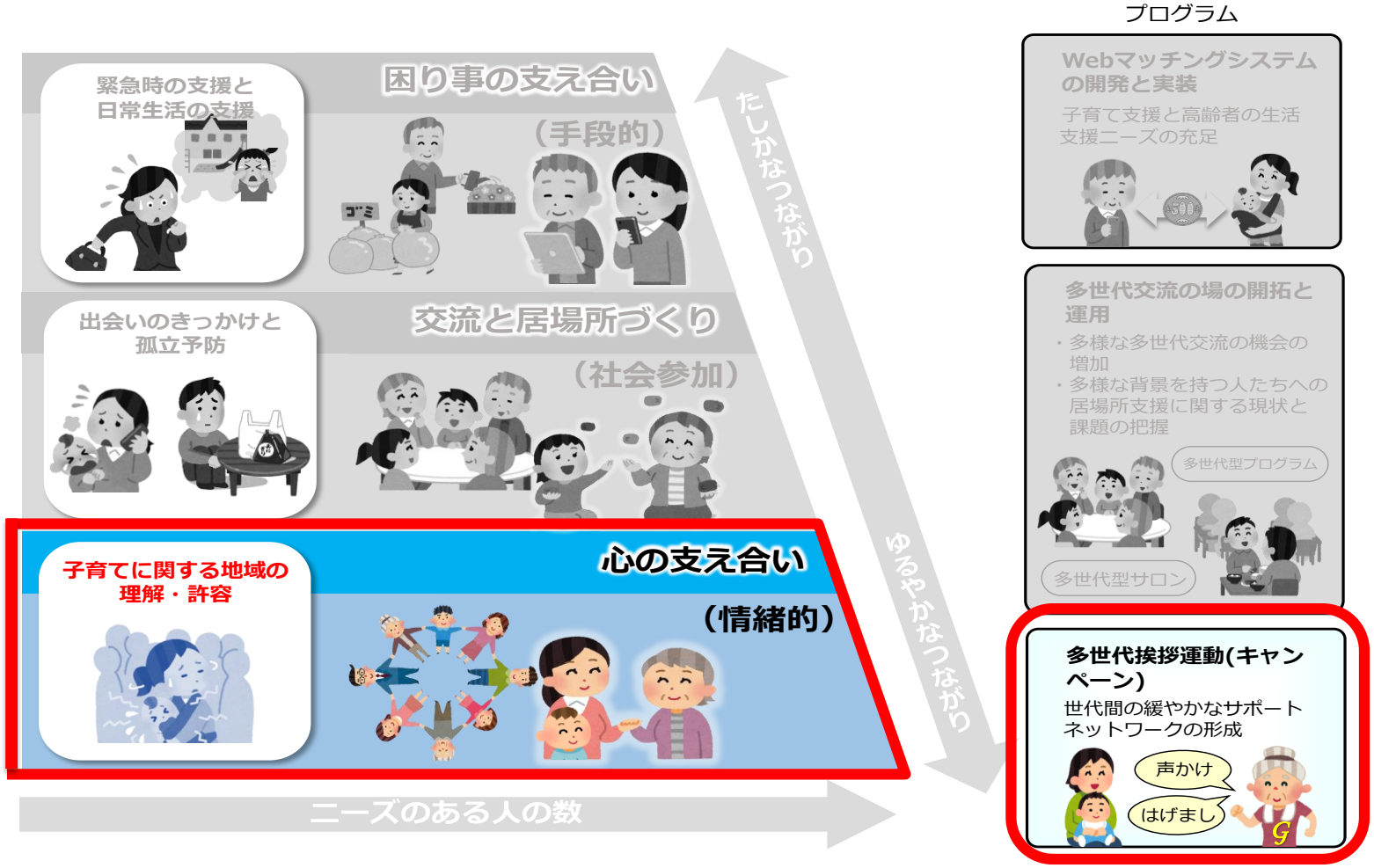
1. 心の支え合いの醸成を目指す 多世代あいさつ運動（キャンペーン）の展開



一般市民の中で、世代間の緩やかなサポートネットワーク（声かけ・ねぎらい・見守り）が形成

地域から「支えられている」と感じる町へ

なぜあいさつが大切なの？ ①
中野島地区の生徒のあいさつ実施状況

ご近所の方に
挨拶を**よくしていますか？**

小学生
43.9%

中学生
33.7%

あいさつをする

ご近所の方から
挨拶を**よくされていますか？**

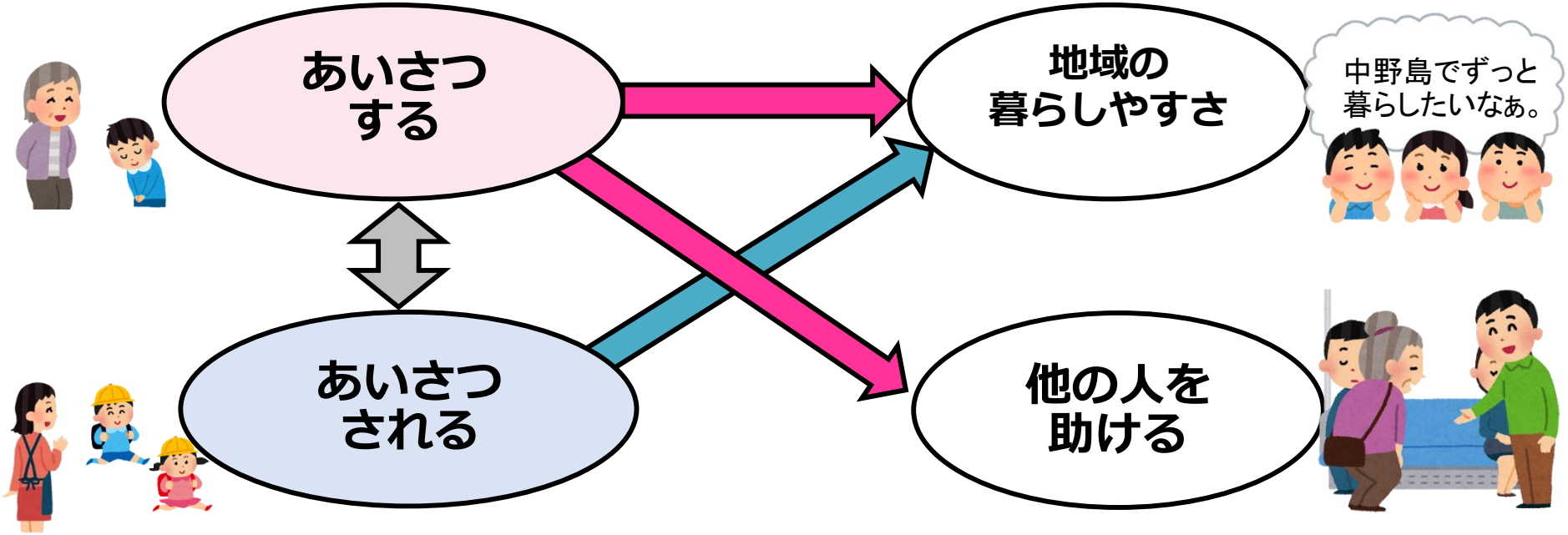
小学生
47.1%

中学生
35.7%

あいさつをされる

なぜあいさつが大切なの？ ②
あいさつをする、されるとどんないいことがあるの？

- あいさつを**する**生徒は、周囲から**あいさつをされており**、地域を**暮らしやすい**と感じ、**援助行動**をする傾向がある。
- あいさつを**される**生徒は、周囲に**あいさつをしており**、地域を**暮らしやすい**と感じている傾向がある。

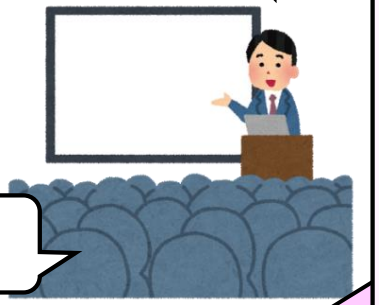


多世代あいさつ運動（キャンペーン）の全体像①

地域

研修・グループワークによる幅広い啓発

- 地域団体やボランティア組織に多世代が交流することの重要性を啓発する研修を実施
- 世代間の情緒的相互支援を高める運動(キャンペーン)の担い手を創出



町会・自治会，シニアクラブ，介護予防サポーターなど

キャンペーングッズの作成・配布

- シリコンバンド
- ウェットティッシュ
- ベスト
- のぼり　など

活用

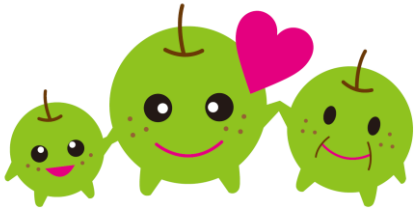
小・中学校

学校を中核拠点とした運動の展開

- 挨拶の大切さを学ぶプログラムの実施
- 地域住民への挨拶運動
- アンケートによる効果検証
  (児童・生徒，保護者，教職員)

社会福祉のつどいで表彰式を実施

ロゴマークの募集

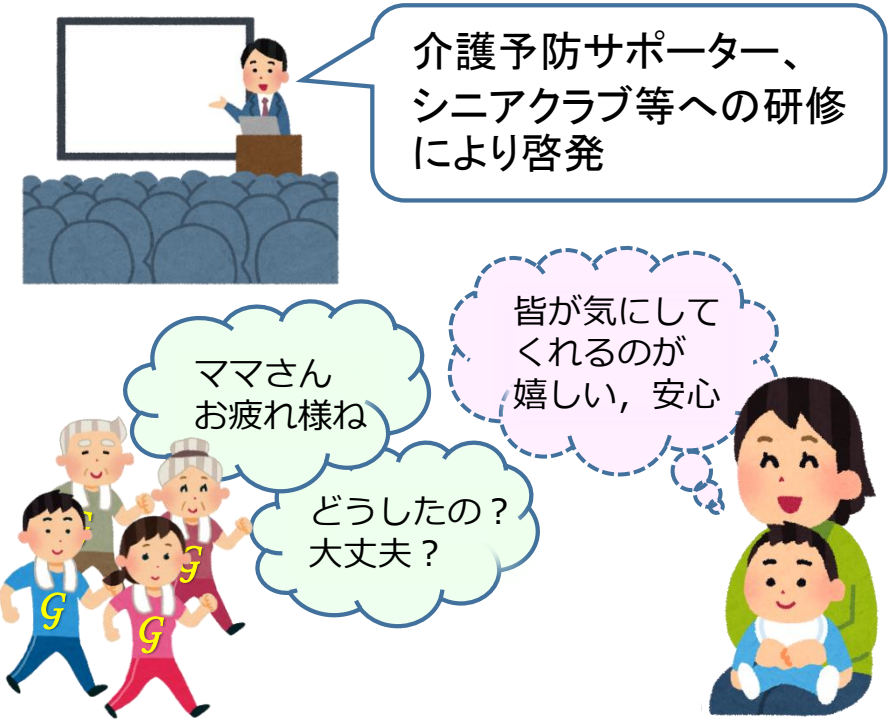


▲ 最優秀賞(中野島小6年生の作品)

多世代あいさつ運動（キャンペーン）の全体像②

既存ボランティアへの講演会／研修会＆多世代挨拶運動（キャンペーン）

- 既存ボランティアに多世代が交流することの重要性を啓発する**研修を実施**
- 世代間の情緒的相互支援を高める**運動(キャンペーン)**の担い手創出



キャンペーングッズを活用した啓発

一般市民の中で、世代間の緩やかなサポートネットワーク（声かけ・ねぎらい・見守り）が形成

地域から「支えられている」と感じる町へ